

## 江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・0828 NO28

校長 伊波喜一

草々の 根の張るごとし 逞しく 分散型の 知恵がひらめき

インターネットの普及には目覚ましいものがあります。実際、ネットがないと、日常生活が極めて不便に感じられるのではないのでしょうか。インターネットが出現した当初、1台のホストコンピューターと端末のパソコンをつなぐ「集中型」システムを使っていました。しかし、落雷などでホストコンピューターが停止すると、システム全体がダウンしてしまいます。その対策として個々のコンピューター同士を結び、ネットワークが遮断されないようにしました。これを「分散型」と呼びます。 どんな組織にも集中型（トップダウン型）と分散型の要素があります。用途に応じて使い分けています。分散型システムをとっているのが、雑草です。株元から無数の根を生やして、それぞれがしぶとく生き抜いています。 これからの時代は集中型で効率よく働く要素と、一人一人が新たな課題に挑戦し、新たな分野に網目を張り巡らせていく要素が必要になります。分散型の要素として、本を読む・人と会う・ぶらっと出かけるを筆者は勧めます。・・・・発想の芽は『非日常』を好むからです。